

(様式2)

令和 4 年度

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1570105914		
法人名	株式会社 あけぼの		
事業所名	グループホームあけぼの		
所在地	新潟県新潟市江南区曙町2丁目5番19号		
自己評価作成日	令和4年5月20日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/15/index.php?action_kouhyou_detail_2018_022_kani=true&JigyosyoCd=1570105914-00&PrefCd=15&VersionCd=022
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	公益社団法人新潟県介護福祉士会		
所在地	新潟県新潟市中央区上所2-2-2		
訪問調査日	令和4年7月25日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

グループホームあけぼのユニット1ではコロナ禍で現在外出や外での活動を控えています。ご利用者様の希望や要望をお聞きし、その季節折々の行事を大切にしながら、ちまき・梅干し作り等々季節を感じられるようにと職員個々の力を活かしてイベントを開催しております。また、運営理念でもある《家庭的な雰囲気の中で、その人らしく生活を送り、幸せを感じていただけますよう、一人ひとりと向き合い寄り添うことで成果ある支援をさせていただきます》とあるようにご本人様を支える環境作りに考慮しながらお一人おひとりの個別のケアを大切に、どんなに認知症状が進行してもご本人様への意向をお聞きし、温かく心休まるような生活が送れるよう支援に努めています。また、運営推進会議を通し地域との協力体制を整え自然災害時すぐに避難できるよう近くのセレモニーホールを一時避難場所とさせて頂きご理解とご協力を得て地域とのつながりを深めています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

○理念に基づいた事業所運営

事業所は地域の人の散歩コースであり、少し歩くと街路樹や梨の花、田園、梅等を眺望できる環境である。利用者が暮らす共有空間は木造であり、天井が高く木の温もりを感じる家庭的な雰囲気で包まれている。窓際には3種類の野菜カーテンがあり、利用者が野菜の生育状況を見て楽しめるような工夫がなされている。長年続けてきた事を継続できるよう利用者の意思を尊重し寄り添いながら支援している。開設時に作成された理念は抽象的な部分もあることから、会議等を通じ、職員間で理念について作り替へ話し合いを行った経緯がある。理念にあるすべての言葉は、地域密着型サービスの意義に繋がり、実践の中でも職員の言葉としてよく聞かれている。運営理念は再検討後も、「家庭的な雰囲気の中で、その人らしく生活を送り、幸せを感じていただけますよう、一人ひとりと向き合い寄り添うことで成果ある支援をさせていただきます」であり、職員間で共有し合い、より具体的な実践に向け取り組んでいる。

○連携を大切にしたい地域での体制づくりに努める事業所

「自分らしく暮らしをつづけ、日々の健康が維持できること」は利用者・家族にとって希望のひとつです。管理者・職員は、入居前のこれまでの医療受診の継続は勿論、事業所での定期的な往診と訪問看護等と連携することで、出来るだけ希望するところでの生活が出来るよう取り組んでいる。終末期ケアのマニュアル整備や訪問看護師による「看取りの勉強会」等、職員たちの知識や不安への配慮をしながら体制づくりを続けている。また、災害時の指定された避難場所も利用者の歩行出来る距離等を地域の自衛消防団と相談し、その時の状況に合わせ、数ヶ所の避難場所の確保を連携しながら契約しており、これら、利用者の日々の生活を大切に思いケアすることが利用者・家族の安心にも繋がっている。